

公立学校共済組合山形支部「第2期データヘルス計画」の概要

【根拠】「公立学校共済組合が行う健康の保持増進のために必要な事業に関する指針」（平成16年文部科学省告示第129号（平成26年6月13日一部改正））

【趣旨】組合員等の特性に応じた保健事業の効果的かつ効率的な推進を図るため、健康診断の結果や診療報酬明細書（レセプト）等から得られる情報、各種保健医療統計資料その他の健康や医療に関する情報を活用し、既存事業の検証・関係機関との連携を図りながら、PDCAサイクルに沿った事業を実施する。

【計画期間】平成30年度（2018年度）から平成35年度（2023年度）の6年間

【策定経過】

- 平成29年
 - 11月2日 第1回支部保健事業検討委員会において計画原案に対する意見聴取
 - 11月9日 本部ヒアリング
- 平成30年
 - 1月30日 第2回支部保健事業検討委員会において計画案を付議
 - 2月 計画策定、本部報告及び支部運営審議会報告

現状と課題

対策の方向性

対応策

生活習慣病

- 有病者率（医療機関受診率）が上昇している一方、上位4疾患の有病者一人当たり医療費は減少。
- 事業主の働きかけにより、定期健康診断等の精密検査受診率が上昇。
…県・市町村教育委員会合計
H23：62.4% → H28：87.6%
- 特定保健指導の実施率が上昇。
…加入者（組合員、被扶養者及び任意継続組合員の合計）
H23：8.2% → H28：43.1%
- 運動が習慣化されている者の割合が少ない。
- 特定保健指導の対象外だが（非肥満）、リスク（脂質、血圧、血糖、肝機能で所見あり）を抱える者が増加傾向。

有病者率 上位6疾患	有病者率			有病者一人当たり医療費		
	23年度	27年度	傾向	23年度	27年度	増減
1 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患（脂質異常など）	5.56%	10.00%	↑	53,053円	48,457円	▲4,596円
2 高血圧性疾患	5.64%	6.82%	↑	74,814円	64,193円	▲10,621円
3 糖尿病	1.39%	2.11%	↑	105,121円	99,882円	▲5,239円
4 虚血性心疾患	0.78%	1.30%	↑	93,919円	89,930円	▲3,989円
5 脳梗塞	0.50%	0.62%	↑	229,614円	247,225円	17,611円
6 その他の脳血管疾患（動脈瘤など）	0.29%	0.60%	↑	75,923円	118,791円	42,868円

- 精密検査の受診率向上が有病者率上昇の要因の一つと考えられ、有病者一人当たり医療費が減少していることを踏まえ、早期発見・早期治療が進んでいると考えられる。
- 有病者率の上昇を踏まえ、特定保健指導の一層の推進等、発症予防、早期発見・早期治療及び重症化予防に向けた、生活習慣改善支援を中心とした事業の継続強化が必要。
- 運動習慣改善のためのきっかけ作りが必要。
- 非肥満者への生活習慣改善に向けた意識啓発が必要。

- 早期発見・早期治療、重症化予防のため、事業主と連携した精密検査受診勧奨の推進。
- 人間ドック時や訪問型等の特定保健指導の推進。
- ウォーキング事業等、運動習慣改善に向けた動機づけに資する事業の推進。
- 非肥満者を含めた、健康意識醸成のための情報提供の推進。



悪性新生物

- 主だった部位の有病者率が上昇。
- 結腸がん・乳がん以外の有病者一人当たり医療費は減少。
- 胃がんの有病者率が依然として高く、また、定期健診等の結果、慢性胃炎の所見が多い。

悪性新生物 の種類	有病者率			有病者一人当たり医療費		
	23年度	27年度	傾向	23年度	27年度	増減
1 胃	0.69%	1.18%	↑	121,326円	68,385円	▲52,941円
2 結腸	0.55%	0.80%	↑	82,091円	101,025円	18,934円
3 乳房	0.60%	0.75%	↑	204,488円	373,826円	169,338円
4 気管、気管支及び肺	0.29%	0.61%	↑	216,242円	151,208円	▲65,034円
5 子宮	0.24%	0.39%	↑	213,685円	92,573円	▲121,112円
6 直腸S状結腸移行部及び直腸	0.06%	0.10%	↑	849,427円	525,108円	▲324,319円

- 胃がんの有病者率が高く、慢性胃炎の所見も多いことから、ピロリ菌感染の可能性等がん罹患リスクを積極的に把握してもらうことが重要。
- 大腸（特に結腸）がんの早期発見・早期治療に向けた取組みの強化が必要。
- 婦人がんの早期発見・早期治療に向けた取組みの強化が必要。

- 早期発見・早期治療のため、事業主と連携した精密検査受診勧奨の推進。
- 胃がん対策として、人間ドック時のピロリ菌検査費用の一部支部負担。
- 大腸（特に結腸）がん対策として、人間ドック時の大腸内視鏡検査の拡充。
- 婦人がん対策として、検診の受診勧奨の推進、乳がん対策として自己検診方法等の周知広報の推進。

精神の疾患

- 有病者率が上昇。



精神の疾患 の種類	有病者率			有病者一人当たり医療費		
	23年度	27年度	傾向	23年度	27年度	増減
1 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.55%	2.04%	↑	73,093円	60,145円	▲12,948円
2 気分（感情）障害（躁うつ病を含む）	1.85%	1.91%	↑	94,070円	115,859円	21,789円

- ストレスマネジメント能力の向上。
- 職場環境の改善等による心理的負担の軽減。

- メンタルヘルス相談窓口等各種相談事業の周知広報強化。
- メンタルヘルスセミナー（一般職向け、管理職向け）を中心とした啓発事業の推進。